

invested in insights.

eastspring
investments

A Prudential plc (UK) company



中東情勢緊迫化と 投資への影響

Market update

私たちイーストスプリングのマルチアセット・ポートフォリオ・ソリューションズ・チームでは、中東情勢を注視し、原油価格のさらなる上昇懸念、エネルギー関連に起因するインフレ圧力の上昇、世界的な貿易コストの上昇といったリスクを注視しています。新たな“石油ショック”が現実化すれば、米FRBは利下げを見送る可能性が高いですが、現時点ではFRBが追加利上げを余儀なくされる可能性は低い、と私たちは考えています。

イランは4月13日、シリアのダマスカスにあるイラン大使館周辺がイスラエルの空爆によって攻撃されたことに対する報復として、イスラエルに対して無人機(ドローン)とミサイルによる攻撃を行いました。さらにイラン革命防衛隊は同日、ホルムズ海峡付近でイスラエル関連(イスラエル政府と関係のある)のコンテナ船を拿捕しました。そして4月18日、イスラエルはイランに対する『限定的』な報復攻撃を行いました。

現在までのところ、市場への影響は比較的限定的なものにとどまっています。4月13日のイランによるイスラエルへの攻撃の直後、国際的な指標であるブレント原油価格は1バレル当たり約92米ドルまで上昇しましたが、その後は下落し、本稿執筆時点では同87米ドルを下回っています(2024年4月21日時点)。しかし、米国株式市場の予想変動率を示すVIX指数は、ほぼ6か月ぶりの高水準にまで上昇しています。

イスラエルとイランの互いの領土への直接攻撃は今回が初めてであり、地政学的緊張が高まっています。世界の指導者たちが双方に自制を求めるなか、イスラエルとイランの全面的な軍事衝突には至らない模様ですが、定期的な応酬は当面、続くかもしれません。

投資への影響

私たちイーストスプリングのマルチアセット・ポートフォリオ・ソリューションズ・チームは、中東情勢を注視し、原油価格のさらなる上昇懸念、エネルギー関連に起因するインフレ圧力の上昇、世界的な貿易コストの上昇(例:輸送コストの上昇)といったリスクを注視しています。世界の原油輸出に占める中東産の割合が高いことを考えると、世界経済への影響は、エネルギー供給の途絶とそれに伴う原油価格の高騰によるところが大きいでしょう。しかし、原油価格の深刻かつ持続的な上昇が無い限り、世界経済を景気後退に追い込むには至らないでしょう。新たな“石油ショック”によって米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ路線が妨げられる可能性は高いですが、一方でFRBが追加利上げを余儀なくされる、とは私たちは考えていません。

当面は、世界の株式は底堅い米国の経済成長に支えられ続けると当チームは考えています。しかし、今後12か月を見通せば、米国のパンデミック期の過剰貯蓄の枯渇や労働市場の需要減少などの要因により、米国の成長はより大幅に鈍化すると予想され、株式市場全体にとってはあまりポジティブではないでしょう。当チームは、長期的にはポートフォリオをよりディフェンシブなものとし、優良社債や国債、米ドルを選好します。

また、私たちイーストスプリングの**アジア債券チームのポートフォリオ・マネジャー、Eric Fang**は、今回の債券市場の調整について、紛争に起因する投資家のリスク回避志向の高まりというよりも、むしろ米国債市場のボラティリティに起因するものだと分析しています。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※ご留意いただきたい事項を最終ページに記載しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

240422(02)

invested in insights.

米国債の先行き変動リスク(米国債の予想変動率)を示すICE BofA MOVE指数は4月16日に121を記録し、1月上旬以来の高水準となり、3月の86から上昇しています。当チームは、中東情勢が緊迫化した場合、ヨルダン、レバノン、イラク、エジプトへのエクスポージャーを減らすことを提案しますが、一方で信用格付けが投資適格級の高格付け国債への影響は小さいとみています。またエネルギー価格の上昇はエネルギー輸出国にとってはプラスに働くでしょう。その場合、当チームではアフリカ(アンゴラ、ナイジェリアなど)や中南米(エクアドル、メキシコなど)に投資機会があるとみており、緊張が緩和すればカタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦などGCC諸国のエネルギー輸出国がより魅力的な投資対象になると考えています。

※ ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び/またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

<当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）が作成した資料をもとに、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料では、個別企業や業種・テーマに言及することがありますが、当該企業の株式や業種・テーマについて組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。○抄訳には正確性を期していますが、必ずしもその完全性を担保するものではありません。また、必ずしも原資料の趣旨をすべて反映した内容になっていない場合があります。